



# 介護体験を

## 聞く会



ホームページ  
<http://www.yanagida-kaigo.co.jp/>

会報第180号

平成29年2月15日発行  
発行所…(有)明寿会  
住所…川崎区中島1-13-3  
電話044-2333-0061  
\*定例会は最終土曜日です。  
本年2月は2月25日です。

「トピックス」  
仕事一筋の職人さんがグループホーム入所し、次第になじみができてきた経過を報告する。

第181回 介護体験を聞く会 (定例会報告)

平成29年1月28日  
(土) 第181回介護体験を聞く会が行われ、スタッフとご家族合わせて22名の参加があり、意見交換をしました。

### 議題

- ①グループホームを最近利用された男性のTさんについて
- ②デイケア・デイサービス家族相談
- ③グループホーム旭町運営推進会議

参加者

職員…院長・柳田ケアマ  
ネ・柏倉・杉山・板井・  
前田・高橋・石川・太田・  
吉田・今村・飯田

家族…柳澤様・藤田様・  
今野様(2人)・長島様・  
野々目様・望月様・大庭  
様  
事業所…小幡様・島田様  
(福祉用具企業)

計22名

### ①事例検討

検討の目的…グループホームに入居され落ち着きがなかった方が次第に落ち着くようになってきた事例を検討する。

\*生い立ち

Tさん、昭和15年9月27日生まれ、76歳、出身地…北海道、趣味…将棋(今は全然やってい

### 近所の保育園と交流



ない)ウエイトトレーニング、バーベル上げ、性格…職人気質、無口(仕事の話はする)

昭和15年北海道で生まれる。7人兄弟の次男。(幼少期等の生い立ち、過ごし方は分ならず)職業は配管等の溶接のお仕事をされ、海外等にも出張していた。

奥様とは大阪の寮の食堂で出会う。(奥様は高知生まれ11歳下)50

年程前には川崎に住まわれている。お子さんは、長女、長男、次女の3人で長女さんが高校入学時に転職される。(出張がない会社へ)お仕事が休み等奥様がいる時は家から出る事なく一緒に過ごされていた。

平成22年頃から、奥様が入院され、お見舞いに毎日病院に行かれていた。その後奥様が他界される。奥様が他界された年は落ち着きがなかった。以降は長女さん、次女さん、長男さんが協力し介護されていた。何度も外出され戻れなくなる事が見られる。携帯の所持は習慣化されていた為、GPS機能で所在確認して対応されていた。自宅内でも鍵や財布の置き場所が分からなくなり、探し回る事が見られる。週4回デイサービスを開始。入浴もデイサービスで行う。

\*現在のADL(日常生活動作)  
食事…自立され、常食を召し上がっている。食欲もあり、完食されている。

たまにおかわりもされる。清潔…入浴は見守り、声掛けにて行われる。髭剃りも自身にて行われる。排泄…自立されております。  
更衣…自立されております。

会話…良好。しかし過去の事や物の名前等、思い出す事は難しい。

\*\*\*\*  
\*入居から現在までの様子と対応…  
入居当時は夕方になると家に帰るから等帰宅の欲求があり、夜間は入眠されるまでは居室から外に出ようとされたりフロアの徘徊が見られていた。

これに対してはスタッフの声掛けにて入眠を促していた。自室に入り、タンスや押し入れを開け、物を探す事が見られていた。スタッフの声掛け、見守りにて対応して見ます。定期受診時等の外出のあとは家族との密着時間が長くなり、夕方落ち着きなくなる事が見られていた。これに対して生活の中心をグループホームに置き、家族との関係



近くの神社で初詣

をほどよい距離に変え、プログラムをご本人が出来る作業にしていた。利用者と揉める事があつたが、ご本人ではなく、職員側の方から対応を変えて解決していった。

**\*現在の様子**

日中は自室に入られる事はたまにありますが、プログラムには参加されていません。歌も唄われ、ジェンガ等ゲームを皆で行う作業も参加されます。夜間はほぼ廊下内を徘徊する事なくテレビを見られてから21時頃入眠されていきます。自室から外に出ようとすることは全くなりませんでした。夕方、

たまに落ち着きなくなる事はありますが塗り絵、溶接の本、プログラムを提供すると落ち着き過ぎられています。

**\*今後の課題**

集団生活をしていく、馴染みの関係を作っていく為にはどのような支援していったら良いのか考え、実践して行きたいと思えます。

**\*家族からのアドバイス**

長女・次女さん・・・母が入院している時、アルツハイマーと診断され、もともと忘れっぽかったがその後母が他界、定年退職してからも職場からお呼びがあり、71歳まで仕事したが病気が分かってから仕事を辞めました。仕事に関しては何も知らず、周りの人にも、見て覚えるといい、あまり喋るのが上手ではなかったが一生懸命働いてくれた。母が亡くなって夜眠れない、等ショックが大きかった。これが病気のきっかけだと思えます。その後1人暮らし、徘徊

がひどくなってきた。介護保険を申請しデイサービスに行っていました。週一回ヘルパーさんを入れたが、家に知らない人が来るのが嫌で徘徊が多くなってしまう。すぐに止めた。アパートで（室内で大工仕事するなど）騒いだりして出て行くてくれという事になり、グループホームを探しました。

**\*グループホーム旭町職員・・・**

最初落ち着きがなかった。溶接の本買ってきた。どうやるんですか？”等お話を伺ったり、パズルや塗り絵、最初は聞いていたが今では声も大きくなり、塗り絵をしながら、一緒に合わせて唄ったりされています。塗り絵の色使いも綺麗です。しかし一度ふざけた女性利用者さんに怒り、これを制止しようとした男性ヘルパーと揉めた事がありました。男性のヘルパーには厳しいところがあります。しかし部屋に入り、話をし、建築の

写真を出して見たりすると落ち着いていただけました。

**\*長女・次女さん・・・**

徘徊の遠いところでは鴨居の方でした。川沿いを歩くのが癖で、GPSで見つかる事があり、このときは暑い夏に9時すぎから探し、昼すぎに見つかった。タクシーで迎えていき、疲れきっていました。

**\*院長・・・**

定期検診で病院から夕方頃ホームに帰宅すると落ち着かなかつたりしたことがあつた。うだが、最近13時頃には帰宅、落ち着いている。それまでホームが自分の家という認識がなかった。家で、家族も部屋で過ごされていたが、今は家族と他の利用者と同じリビングで過ごしています。カーテンを開けたり等あつたが、今は全くないようです。  
\*ケアマネ・・・入居後、色々な情報がなく、前のケアマネジャーより腕の良い職人さんだったという情報をもらい、ヒントを得て上手くいくように

なつた。元職場の方からお話が聞ければ、出来る事が多くなり、プログラムも考えられると思えますが・・・

**②デイケア・デイサービス家族相談**

今野様(本人)・・・日付、曜日が分からなくなり、自宅で何回も質問が多くなつた。新聞を見て今日は何日か見ている。週一回デイサービスに行っています。掃除を手伝ったり、まちがい探し、計算問題等やっている。家ではやらないんですが。自分でやれる事はやりませう。  
\*ご主人・・・これからだと思えます。  
\*長島様・・・うちの主人の場合、日めくりカレンダー買って覚えてきた。今日は何日か覚えてはならないと思うようになってきた。リハビリをし、すり足も少なくなり、週三回行くようになり声も大きくなり、生活のリズムが整いました。  
\*柳澤様・・・うちのはよく食べている。血液検査したがその検査結果は息

子の俺より良いのでは？  
\*職員・・・柳沢さんは「おいしい」と喋っていた。姿勢も良い、歌っている口をパクパクやっていた。

野々目様・・・うちのは全然喋ってくれなくなつた。泊まりを入れたからだろうと、姉。姉は口出しするの、普段見ていない人は全然分かっていない。

### ③グループホーム旭町運営推進会議

新規の利用者、退去者各1名、一月14日に入居、2月2日に1入居予定、1月31日退院予定の方がいます。2月9日には見学の方も来られます。空室は1室、2件の問い合わせがありました。1月25日には外部評価、藤崎保育園との交流会、富士見中学校から職場体験で2名来られ、町内会の餅つきや旭町小学校との交流会等参加、子供が来ると握手をし、涙して喜ばれておりました。

### 【今年の抱負】

去年から新しい方も入居され日々忙しく、楽し

く生活を送れています。なじみの関係が段々と出てきてはいますがもつともつと良くしていきたいと思つています。入居者同士の助け合いもちらほら見えてきており、仲間として皆さんと一緒に成長出来ればいいなと思つております。

春先には新しく音楽ホールも完成する予定で音楽療法や活動の場も広がるので音楽ホールを効率良く活用できないか考え、他部署とも相談できたらいいなと思つています。グループホームの他にもデイサービスや、デイケアとも交流を深めたいと思つています。外出や行事等にも力をいれていきたいと思つています。季節を感じれる場所や食べ物、催し物を工夫したいと思つています。

また、一般の方にも認知症の方の暮らし方やグループホームの事を広く知ってもらえればいいなと思つています。日々地域の方々の手助けもあり生活できているという実感があり、今年にはグループホームとして地域にどうやったら貢献できるのかを考え、

実践していけたらいいなと思つています。

また、人生の先輩から色々な事を教わり、技能を受け継いでいければいいなと思ついました。まだまだ覚えたり、教わつたりする事がたくさんありますが頑張つていきたいと思つています。

### グループホーム旭町 管理責任者板井

### 【柳田デイサービス 新年の抱負】

ご利用者様、ご家族の方々、地域の皆様並びに関係機関の皆様のご支援、ご協力をいただき、本年も無事新年を迎えることができまして、ことを感謝申し上げます。さて、今年の干支は十二支で十番目となる酉（とり）年になります。

「酉」は、収穫、繁盛、親切といった意味合いを持つことですが「酉」は「（糸曾）？」（しゅう）「ちぢむ」の意味）で、果実が成熟の極限に達した状態、熟した果実を収穫できる状態である事から「実る」とも表しているそうで、後に覚え易く

するために動物の鶏が割り当てられたと言われている。また、酉は「取り込む」のトリという語呂合わせで、運氣も取り込むなど、昔から縁起が良いと言われています。今年により一層、良い縁や良い運をたくさん取り込み、実りのある一年にして参りたいと思つております。前述に「果実が実る」とありますが、実らせるには、土を耕し、種をまき、水をやり、育てる。そして、成果物を収穫し、次の収穫に繋がっていきます。我々デイサービス職員もそのプロセスを大切に日々勤しみ、ほんの少しの小さなことでも「実り」が皆様に訪れるよう取り組んで参ります。

### 【旭町小学校交流会】

1月24日と30日に旭町小学校二年生との交流会を行いました。

子供達の緊張した「はじめの言葉」から始まった交流会。子供達の皆さんがそれぞれ用意してくれた「昔遊び」でグループをつくりまします。2日間、「けん玉・すごろく・こま・お手玉・めんこ・カルタ・あやとり」を利用者さんと一緒に遊びました。昔遊びをすること、子供達の頃を思い出し、得意だった遊び方を子供達に教えてあげるなど、楽しい時間を過ごす事ができ、また、利用者さん達と遊ぶことにより緊張が溶け、賑やかに子供

年末年始は天候にも恵まれ、ほとんどの利用者様がお変わりなく柳田デイサービスに来られました。「あゝ久しぶり」。「今年もよろしく」。「家に居てもする事ないわ（笑）」。「風呂が待ち遠しかった」。「等々のお言葉と共に元気に過ごされました。また、1月5日・6日



たちでした。子供達の「また来ます！」「元気に過ごして下さい」などの言葉と共に握手し、その言葉に涙ぐむ利用者さんまでいました。私達スタッフにはあまり見せない笑顔や表情も垣間見ることができ、いつもと違った刺激になったように感じます。

このように、柳田では地域との交流会をとて大切にしており、また利用者さん達も楽しみにされている行事の一つです。今後も子供達が利用者さん達との交流を通じ、喜びや思いやり等の気持ちを感じてもらえる触れ合いを、地域の協力のもと続けていきたいと思いません。

柳田デイサービス

児玉

### 《集団ワークの効果》

ある日の午前のデイケア室で、いつものように20人弱の利用者さんと集団体操をやっていた。音楽のあとに足の体操になった。Aさん(女性)は第二心臓体操がうまく出来ないのである。それは両足のふくらはぎ(腓腹筋)の収縮運動を第二心臓体操と称して、全員が輪になってかかと上げ運動を30回やる。ただ床に足を置いて、つけた足の“かかと”だけを上げるのである。しかしAさんは“かかと上げ”の意味が理解できず、自分の足首を前に上げたりしている。近くの職員が足を押さえて“かかと”だけをあげさせようとしても出来ない。その様子を見ていると、Aさんは周りを見ず自分の足ばかりをみている。そして同じように出来ない、出来ない、というそぶりで顔をしかめて悩み混乱している。集団にいながら他人を見ていない。そうやるのではなく、輪になっ

### 小学生と大先輩



ている円の反対側のおばあさんの足を見てご覧なさいという、見た途端に即出来るようになった。集団に居ながら個を頑なに維持していた。輪になっていかなかったのである。

Aさんは自分一人で混乱していた。集団から学ばないというやり方に慣れていなかった。集団が自分を教えてくれていること、これが集団効果であり、集団ケアであり、集団力である。

デイサービス室でも社長夫人だった高いプライドの女性が参加してきた。はじめはプライドが高く参加は難しいのではなにかと思われてた。しかしそれは杞憂に終わった。

参加してみるとスムーズに輪に入り、入浴もできた。プライドが高い(個が優先)と心配していたのが、本人は集団を欲していたのであった。特に認知症になると、不安がいつぱいになり、個に閉じてしまう。それが悪化し勝手にプライドが高い、個が優先ではないかと外からだけ、風評だけ聞いて見て評価していたのである。そうではなく、個に閉じているのは、集団に参加して背中を押してもらいたいのである。ただ一步をヘルパーに押ししてもらいたいのである。人間はこの世で一人で生きていけないのだなど感じた次第です。

「伝統音楽をはじめよう」  
伝統音楽はその国の文化であり、民族の背骨である。労働と汗と歴史のメッセージを民謡などの伝統音楽のなかに表現している。

日本の民謡なども秋田船方節などは北前船による日本の交易で大きな物流がおこなわれた証明であ



福は内、鬼は外！

るが、民謡を歌う人々を通じてその頃の日本民族のひととの交流を垣間見ることが出来る。ロシア民謡においても、赤いサラファンなどの歌に嫁に出す娘への母親の気持ちを表現しており、民族は違っても子供を嫁にだす母親の気持ちは共通していることを教えられる。

私たちの小さな施設でも、日本民族の伝統音楽、伝統民謡、そこに流れる先祖や諸先輩方々の歴史にまつわるメッセージを聴きながら、歌いながら、当時の時代や世界を回想しながら、地域の未来、日本の未来を考え、作り上げることにしたい。